

2019年2月期
決算説明会資料
2019年4月17日

PAL GROUP HOLDINGS

株式会社パルグループホールディングス 証券コード:2726

SMILE
IS
POWER.

社員と株主みんなの幸せのための経営



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

目次

財務報告 2

2019年2月期 決算概況 3

2020年2月期 業績見通し 14

経営ビジョン 16

トピックス 19

株主様への対応 25



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

財務報告

2019年2月期 決算概況
2020年2月期 業績見通し



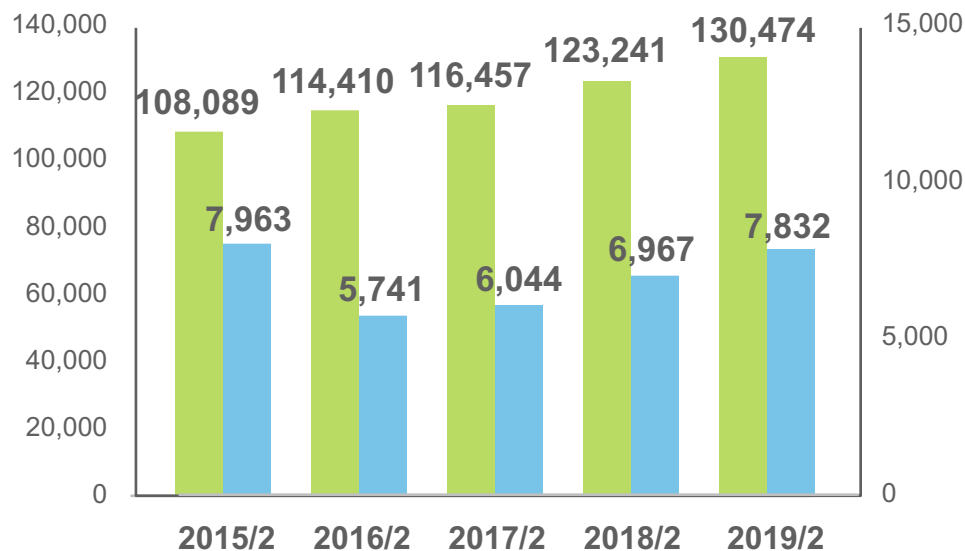
前期を振り返って

- 売上高：店舗数は9店舗純減ながら、EC販売が好調に推移(前期比38.2%増)し、5.9%増収。
- 利益率：09系の英インターナショナル(株)で業務の大幅縮小や、雑貨業態での減益要因があったものの、経常利益は12.4%増益となった。

連結

■ 売上高 ■ 経常利益

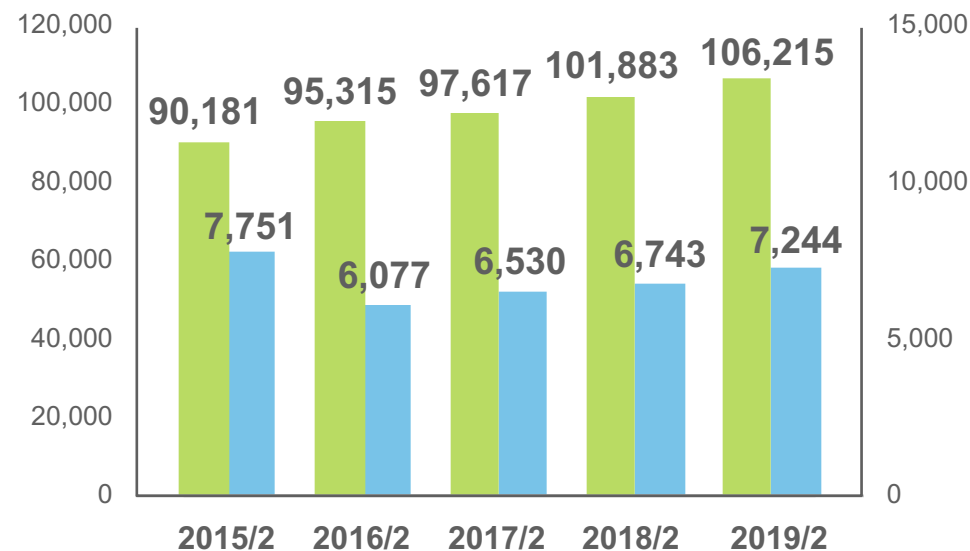
単位:百万円



(株)パルグループ
ホールディングス単体 + (株)パル

■ 売上高 ■ 経常利益

単位:百万円



2019年2月期 (株)パルグループホールディングス連結損益状況

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2018年2月期	2019年2月期			
		公表値	実績	前年比	公表値比
売上高	123,241	133,510	130,474	105.9%	97.7%
売上総利益	68,751	75,640	72,700	105.7%	96.1%
(売上比)	55.8%	56.7%	55.7%	—	—
営業利益	7,042	8,990	7,933	112.6%	88.2%
(売上比)	5.7%	6.7%	6.1%	—	—
経常利益	6,967	8,720	7,832	112.4%	89.8%
(売上比)	5.7%	6.5%	6.0%	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,489	4,930	4,760	191.2%	96.6%
(売上比)	2.0%	3.7%	3.6%	—	—

- 売上は、(株)オリーブ・デ・オリーブが寄与し、(株)パルの3コインズ事業で台風21号による被害により販売機会損失などがあったものの、5.9%増収。
- 英インターナショナル(株)業態の大幅縮小に伴う在庫処分損などにより粗利率が低下したものの、賃料比率の改善等販管費比率が改善したことにより、増益となった。

単位:百万円

	2018年2月期	2019年2月期			
		公表値	実績	前年比	公表値比
売上高	101,883	107,300	106,215	104.3%	99.0%
売上総利益	57,632	61,530	60,036	104.2%	97.6%
(売上比)	56.6%	57.3%	56.5%	—	—
営業利益	6,798	7,640	7,263	106.8%	95.1%
(売上比)	6.7%	7.1%	6.8%	—	—
経常利益	6,743	7,390	7,244	107.4%	98.0%
(売上比)	6.6%	6.9%	6.8%	—	—
当期純利益	948	6,790	6,317	666.3%	93.0%
(売上比)	0.9%	6.3%	5.9%	—	—

- 売上・利益とも公表値にはやや届かなかったが、増収増益は確保。

■ 株式会社ナイスクラブの状況

単位:百万円

	2018年1月期 実績	2019年2月期 実績	前年比
売上高	10,728	11,620	108.3%
営業利益	549	775	141.2%
経常利益	581	796	137.0%
当期純利益	354	500	141.2%

- 引き続き順調に売上を拡大し、大幅増益達成。

■ 株式会社オリーブ・デ・オリーブの状況

単位:百万円

	2018年2月期 実績	2019年2月期 実績	前年比
売上高	1,084	3,690	—
営業利益	107	303	—
経常利益	113	302	—
当期純利益	12	134	—

- (株)オリーブ・デ・オリーブの2018年2月期は2017年12月～2018年2月の3ヶ月のみ。
- なお、(株)オリーブ・デ・オリーブは2019年3月1日付で(株)ナイスクラブに吸収合併されています。

セグメント別売上高実績及びEC売上高の状況

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

		2018年2月期	2019年2月期	前年度比
衣料				
	売上高	89,517	96,139	107.4%
	構成比	72.6%	73.7%	
	営業利益	5,041	6,311	125.2%
	営業利益率	5.6%	6.6%	
雑貨				
	売上高	33,604	34,231	101.9%
	構成比	27.3%	26.2%	
	営業利益	1,975	1,565	79.2%
	営業利益率	5.9%	4.6%	
その他				
	売上高	120	103	85.8%
		2018年2月期	2019年2月期	前年度比
EC売上高				
	ZOZO TOWN	7,183	10,289	143.3%
	自社PALCLOSET	1,987	2,950	148.5%
	その他	1,851	1,990	107.6%
	合計	11,021	15,231	138.2%
	対衣料売上高比率	12.3%	15.8%	3.5P

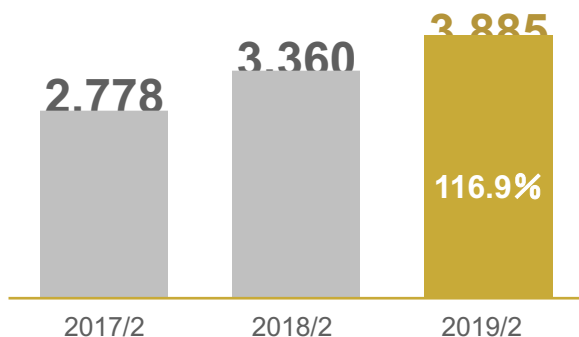
- 衣料部門は、売上・利益とも順調に拡大。雑貨は、平成30年台風21号被災の影響で3 Coins 事業で商品供給が遅れたことによる販売機会損失などにより、減益。ECは順調に拡大。

主なブランド

PAL GROUP HOLDINGS

売上高

単位:百万円



Kastane

アメリカンクラシックをベースとし、
世代・性別を超えたリアルスタイルの提案。
今の気分をmixしたマイルスタイルの発見。

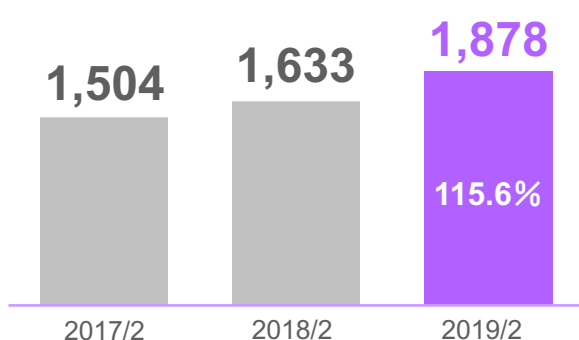
カスタネ

店舗数 22店舗



売上高

単位:百万円



Lui's

モテる男のワードローブをテーマに
モード&ストリートのMIXコーディネート提案。
着心地、カッティング、素材感を重視した商品を
国内外問わず編集し発信していく。

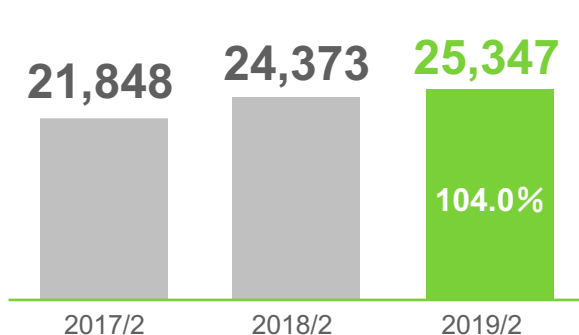
ルイス

店舗数 11店舗



売上高

単位:百万円



3COINS

何度でも行きたくなる！いつ行っても発見がある！
ワクワク・ドキドキがたくさん詰まったHAPPY STORE
3COINSは、あなたのちょっと“幸せ”をお手伝い
する雑貨店です。キッチン・バス・インテリア・靴下・
アクセサリなどの商品を、ベーシックなものから楽
しくなるようなカラフルな色使いのものまで、300円
を中心とした雑貨を幅広く取り揃えています。

3コインズ

店舗数 190店舗



販売費及び一般管理費

PAL GROUP HOLDINGS

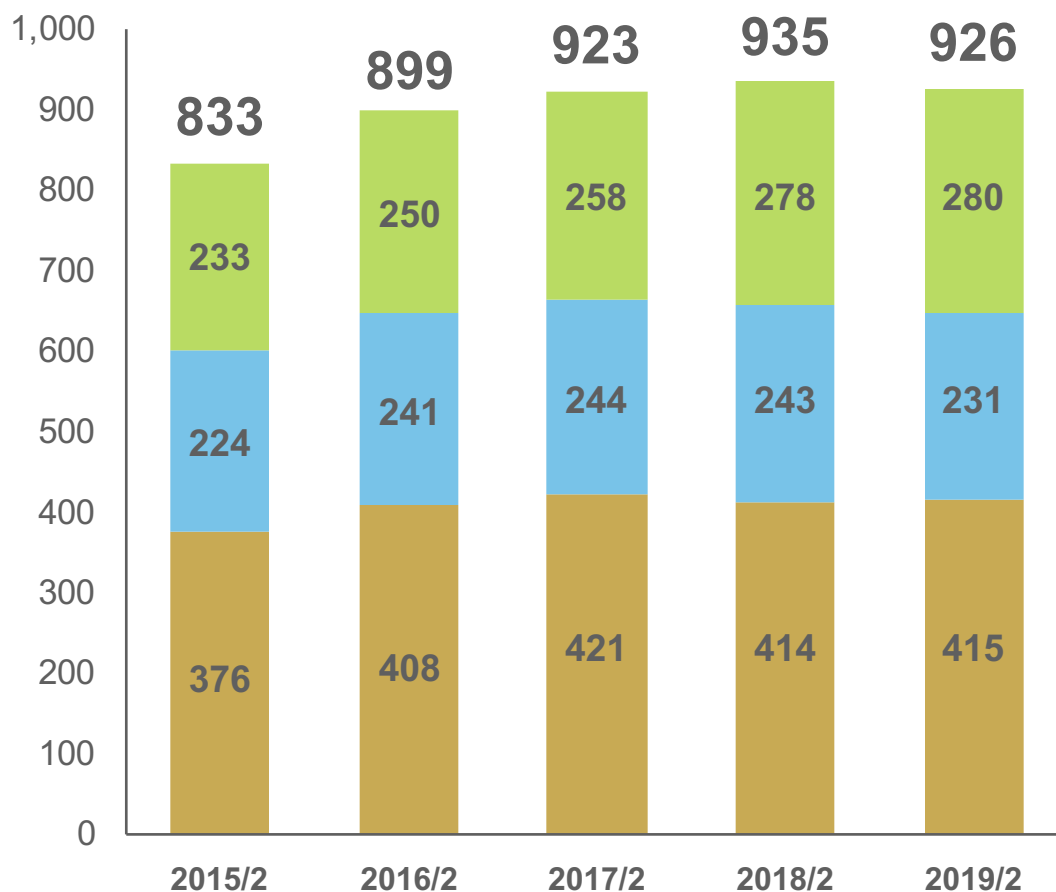
単位:百万円

	2018年2月期	2019年2月期	前年度比
(株)パルグループホールディングス単体 + (株)パル	50,834	52,773	103.8%
連結	61,708	64,766	105.0%
販管費比率(連結ベース)	50.1%	49.6%	△0.5P
人件費比率	19.2%	18.6%	△0.6P
賃料比率	16.2%	15.4%	△0.8P
広告宣伝費比率	0.3%	1.2%	0.9P

- 不採算店舗の撤退に加え、新規出店を中心に入居条件が改善し、賃料比率低下。

期末店舗数926店舗 (前期末比9店舗減)

■ その他地方
■ 関西圏
■ 関東圏



● 出店状況

上場来初めて店舗数は純減となった。

市場環境を勘案し、新規出店を一層慎重に考え、本年度は61店舗の出店。

退店は、不振が続く109系の英インターナショナル(株)の戦略を見直し、地方店舗を大幅に削減し、渋谷109とEC通販に経営資源を集中することとしたため、16店舗退店するなど、不採算70店舗退店。

業態変換は、7店舗となった。

特別損益

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2018年2月期	2019年2月期
固定資産売却益	—	310
受取補償金(平成30年台風21号災害に伴うもの)	—	198
移転補償金(本社移転に伴うもの)	—	242
特別利益合計	—	751
固定資産除却損	262	266
リース解約損	8	3
減損損失	1,766	475
災害による損失	—	136
特別損失合計	2,038	882

- 固定資産売却益は、五反田ビル売却によるもの。
- 災害による損失は、平成30年台風21号の被災によるもの。

連結貸借対照表

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2018年2月期	2019年2月期	前期末比増減	備考
流動資産	58,190	63,509	5,319	
現金及び預金	40,728	45,633	4,905	
売掛金	5,194	5,623	429	
たな卸資産	9,935	10,438	503	
その他	2,331	1,814	△517	
固定資産	24,699	24,225	△474	
有形固定資産	8,233	8,153	△80	
無形固定資産	637	808	171	
投資その他の資産	15,828	15,263	△565	
資産合計	82,890	87,735	4,845	
流動負債	30,091	33,358	3,267	
固定負債	14,323	12,737	△1,586	
負債合計	44,415	46,096	1,681	
純資産合計	38,475	41,639	3,164	自己資本比率 47.5%
負債資本合計	82,890	87,735	4,845	

連結キャッシュ・フロー計算書

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2018年2月期	2019年2月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,236	10,378
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,717	△1,182
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,322	△4,291
現金及び現金同等物の増加(減少)額	4,835	4,904
現金及び現金同等物の期首残高	35,959	40,728
現金及び現金同等物の期末残高	40,728	45,633

2020年2月期 連結・(株)パルグループホールディングス単体＋(株)パル業績の見通し

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

1. 連結

	2019年2月期	2020年上期	2020年下期	2020年2月期	前期比
売上高	130,474	68,500	69,200	137,700	105.5%
売上総利益	72,700	38,350	38,790	77,140	106.1%
販売管理費	64,766	33,850	34,100	67,950	104.9%
営業利益	7,933	4,500	4,690	9,190	115.5%
経常利益	7,832	4,410	4,590	9,000	114.9%
特別損益	△130	△200	△200	△400	△270
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,760	2,700	2,830	5,530	116.2%
粗利率	55.7%	56.0%	56.1%	56.0%	0.3P

2. (株)パルグループホールディングス単体 ＋(株)パル

	2019年2月期	2020年2月期	前期比
売上高	106,215	110,800	104.3%
売上総利益	60,036	63,030	105.0%
販売管理費	52,773	54,950	104.1%
営業利益	7,263	8,080	111.2%
経常利益	7,244	7,900	109.1%
特別損益	△824	△400	424
当期純利益	6,317	4,870	77.1%
粗利率	56.5%	56.9%	0.4P

- EC販売は、自社サイト中心にさらに拡大し、増益を図る。
- 4週MDのさらなる徹底と生産プラットフォームの活用などにより粗利率を改善し、販管費の減少に取り組み増益を図る。

2020年2月期 業績見通しの前提

PAL GROUP HOLDINGS

1. 店舗数の状況

	2018年2月期	2019年2月期	2020年2月期 (現時点の確定数)
新規店舗数	(営業譲受32含む)89	61	33
退店店舗数	77	70	18
店舗数純増	12	△9	15
期末店舗数	935	926	941

2. 既存店売上の状況（パルグループ各社の合計）

	2018年2月期	2019年2月期 上期累計実績	2019年2月期 下期累計実績	2019年2月期 通期実績	2020年2月期 計画
既存店売上推移	103.2	102.4	101.8	102.1	102.0
うち小売既存店売上高	100.0	99.7	98.4	99.0	100.0
うちネット通販既存店売上高	148.8	128.8	135.8	132.2	133.0

	2018年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
既存店売上推移	105.7	99.9	96.6	104.8	101.2	107.2	98.5	101.7	100.4	103.3	101.1	106.7
うち小売既存店売上高	104.6	97.4	93.1	102.2	98.4	103.6	95.7	98.9	97.1	99.9	99.0	103.7
うちネット通販既存店売上高	118.6	125.3	131.3	124.3	123.6	143.1	128.2	133.2	134.4	137.8	136.1	144.7

3. 全店売上の状況

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	通期
全店売上	109.3	102.1	99.9	106.5	103.7	110.0	101.5	102.8	102.2	104.1	103.5	107.9	105.9
うちEC	128.1	137.3	145.0	135.0	130.8	152.1	137.3	141.7	140.7	136.5	135.4	143.7	138.2

4. 客数、客単価の推移

	客単価前年度比	客数前年度比
衣料事業	99.7%	101.4%
雑貨事業	97.0%	99.0%

SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

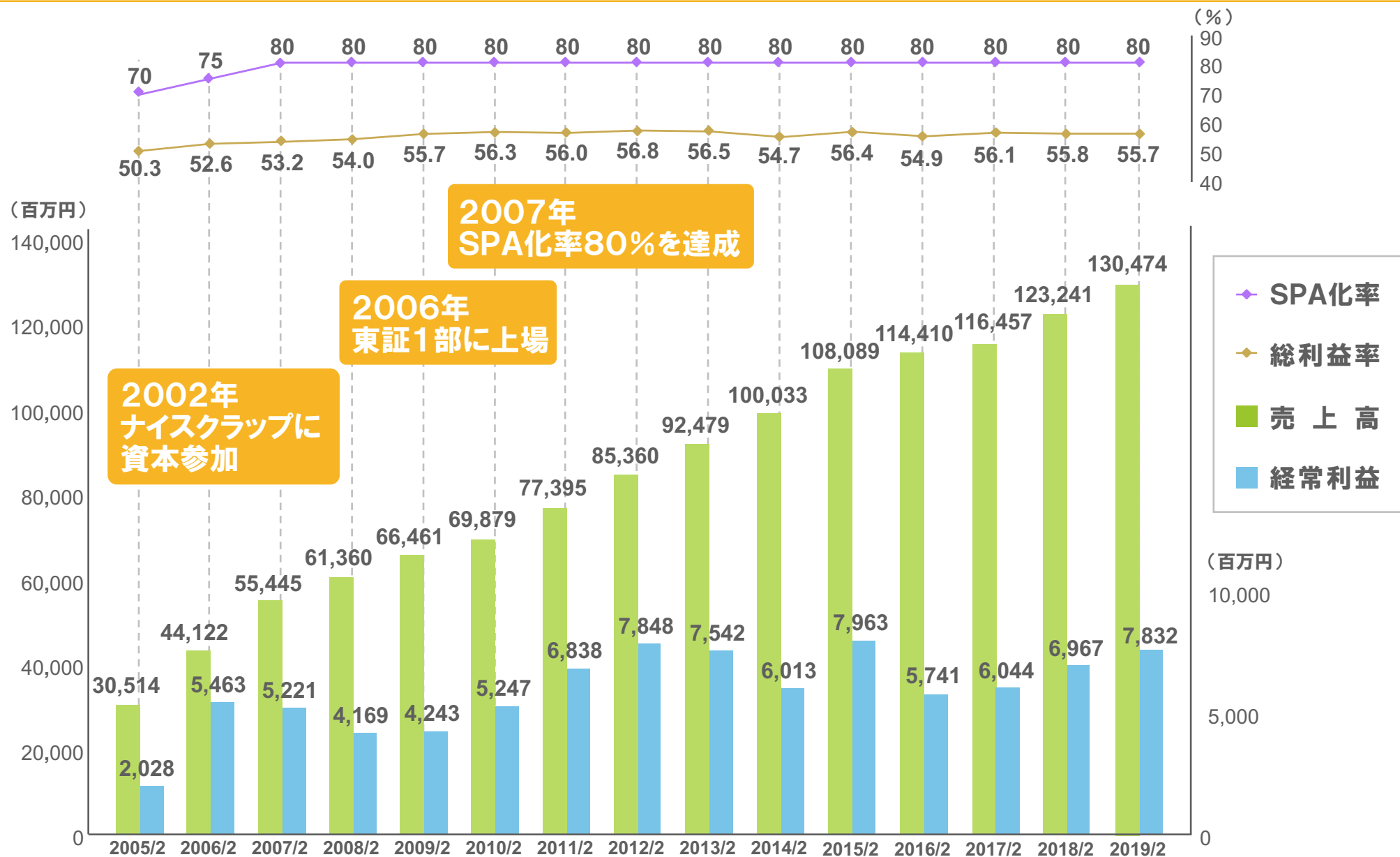
経営ビジョン

業績推移
中長期ビジョン



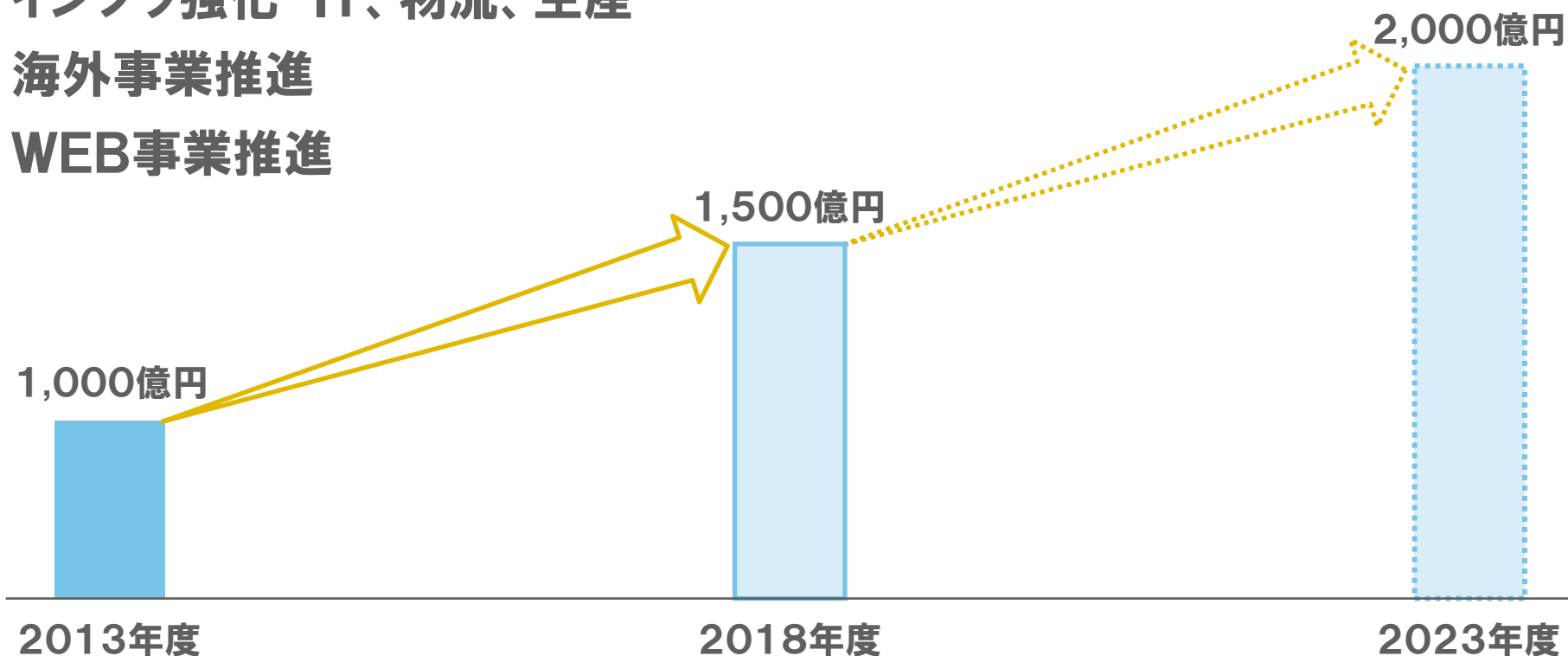
業績推移

PAL GROUP HOLDINGS



事業戦略

- 『パル流』経営のグループ会社への一層の浸透・持株会社体制へ移行
- 新規ブランドの創設（社内提案、社外コラボ、M&Aなど）
- インフラ強化 IT、物流、生産
- 海外事業推進
- WEB事業推進



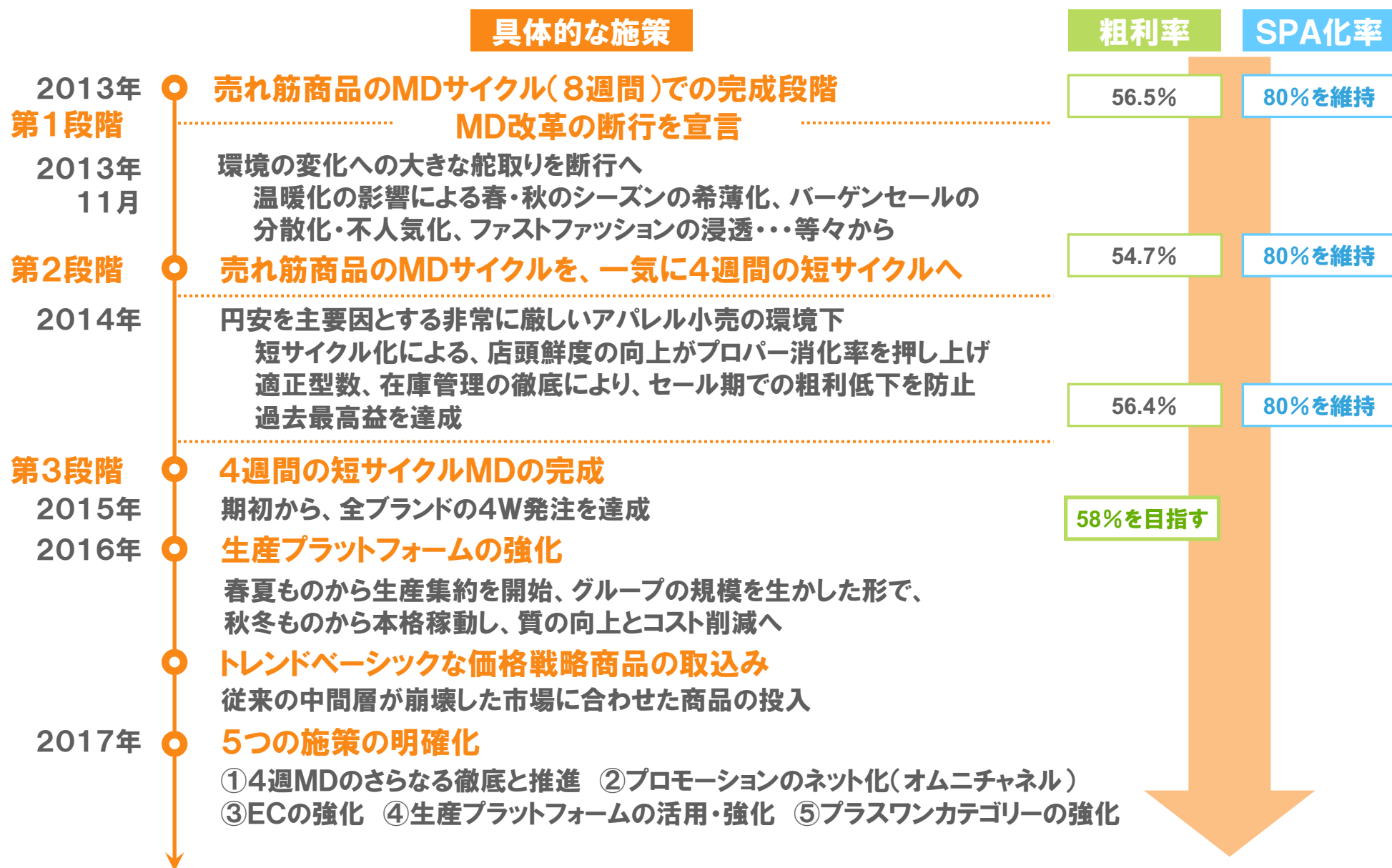
SMILE
IS
POWER.

トピックス

1. MD改革の進捗状況
2. EC販売強化
 - 2-①. PAL流オムニチャネル
3. イタリア発のバッグブランド
「IACUCCI」<イアクッチ> 独占販売開始
4. 第1回PAL FOUNDATION CUP開催



1. MD改革の進捗状況



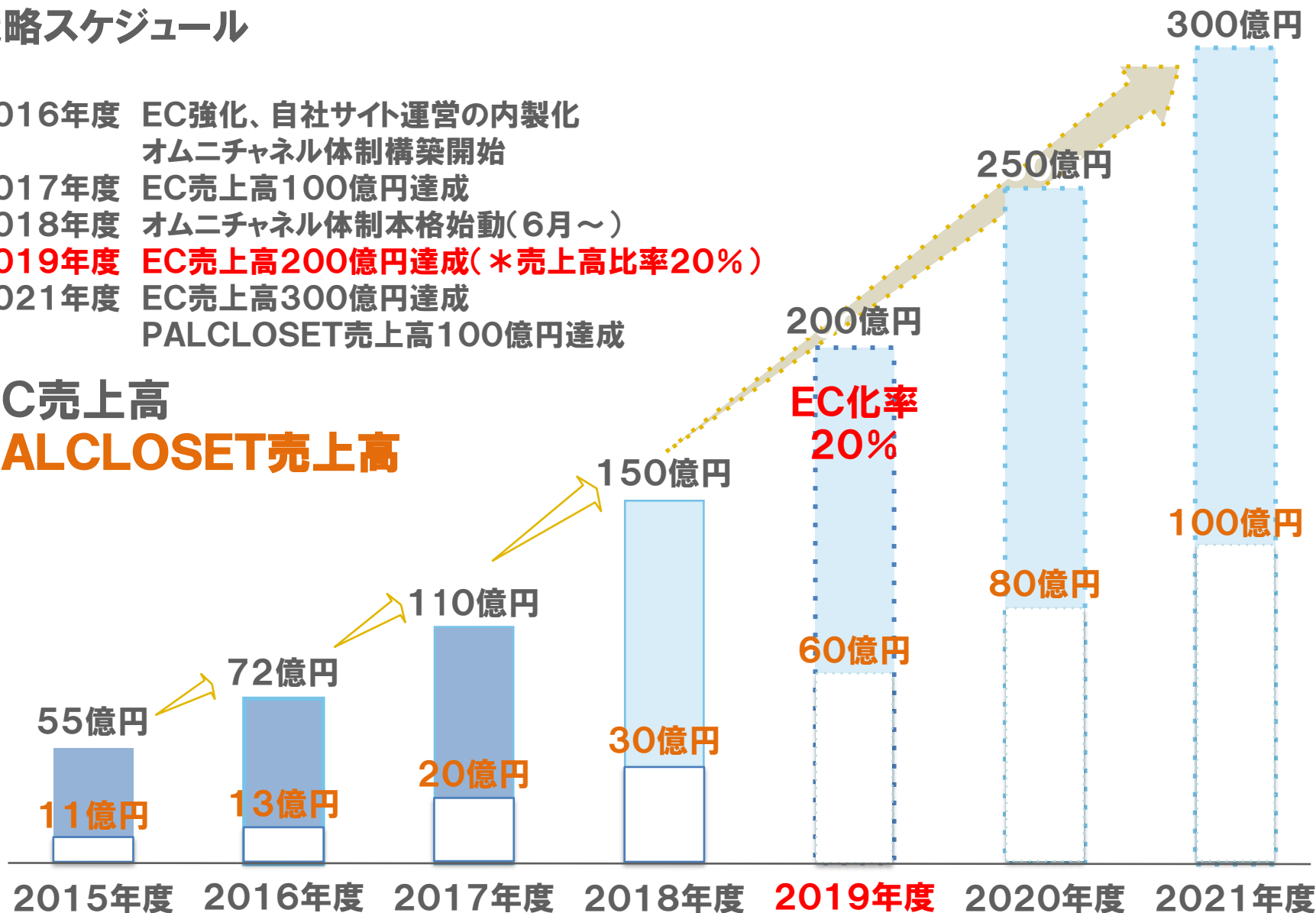
2. EC販売強化

戦略スケジュール

- 2016年度 EC強化、自社サイト運営の内製化
オムニチャネル体制構築開始
- 2017年度 EC売上高100億円達成
- 2018年度 オムニチャネル体制本格始動(6月～)
- 2019年度 EC売上高200億円達成(*売上高比率20%)**
- 2021年度 EC売上高300億円達成
PALCLOSET売上高100億円達成

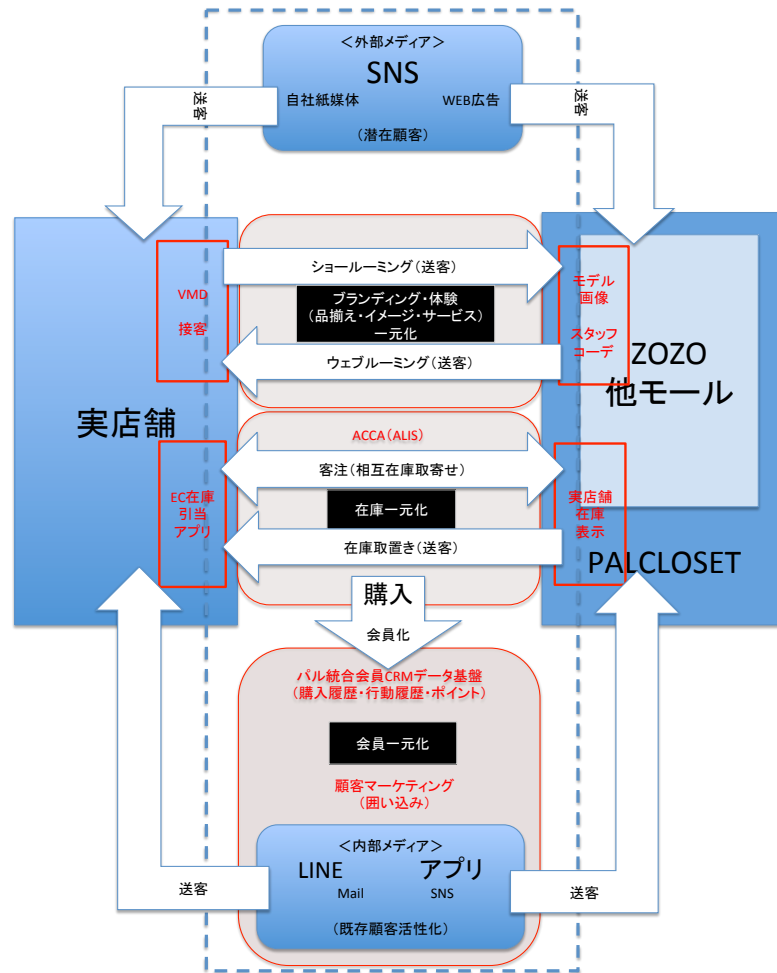
- EC売上高

- PALCLOSET売上高



2-①. PAL流オムニチャネル

Technology



システム・データの一元化
デジタルの活用

実店舗・ECの境を超えた
スタッフの活躍

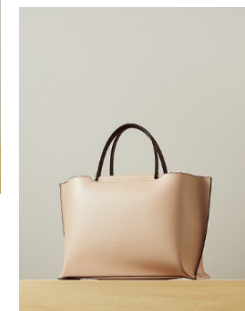
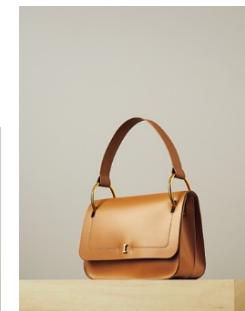
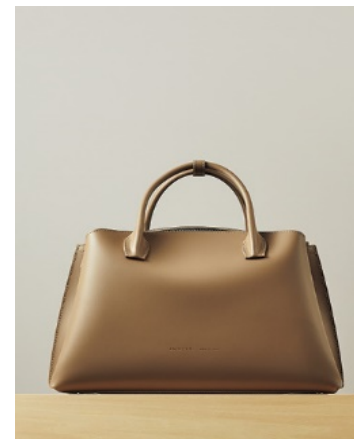
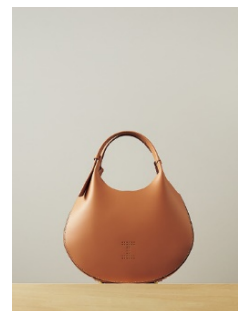
3. イタリア発のバッグブランド「IACUCCI」＜イアクッチ＞独占販売開始

PAL GROUP HOLDINGS

- 大丸東京店、高島屋大阪店(期間限定)、渋谷ヒカリエシンクス店(期間限定)および公式通販サイトをオープンしました。

イアクッチは、1976年にイタリアにて創業者パオロ・イアクッチとその妻ナルーにより創設。高品質なものづくりを通し、イタリアならではの感性をミニマルに表現することで人々を魅了するバッグブランドです。素材調達から生産に至るまで、そのすべての工程をイタリアで行い、厳選された素材と感性を見事に融合させたコレクションを展開しています。

公式通販サイト「PAL CLOSET」 <https://www.palcloset.jp/iacucci/>



4. 第1回PAL FOUNDATION CUP開催

PAL GROUP HOLDINGS

- 公益財団法人パル井上財団が、従来の奨学金給付事業に加え、第2の事業として、ファッションビジネスを専攻している学生を主な対象として、ロールプレイング形式で接客技術を競う「第1回PAL FOUNDATION CUP」を、東京(11月9日)・大阪(11月16日)各会場で開催しました。
書類選考で勝ち上がった東西計17名の学生が熱戦を繰り広げ、大会は大いに盛り上がり成功を収めました。
デザイナーなどクリエイティブ系の学生はコンテスト形式の大会が数多くありますが、これまでファッションビジネス系の学生が、全国的な規模で成果を競う機会がなかったこともあり、参加各学校関係者からは本大会に対して高い評価をいただきました。



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

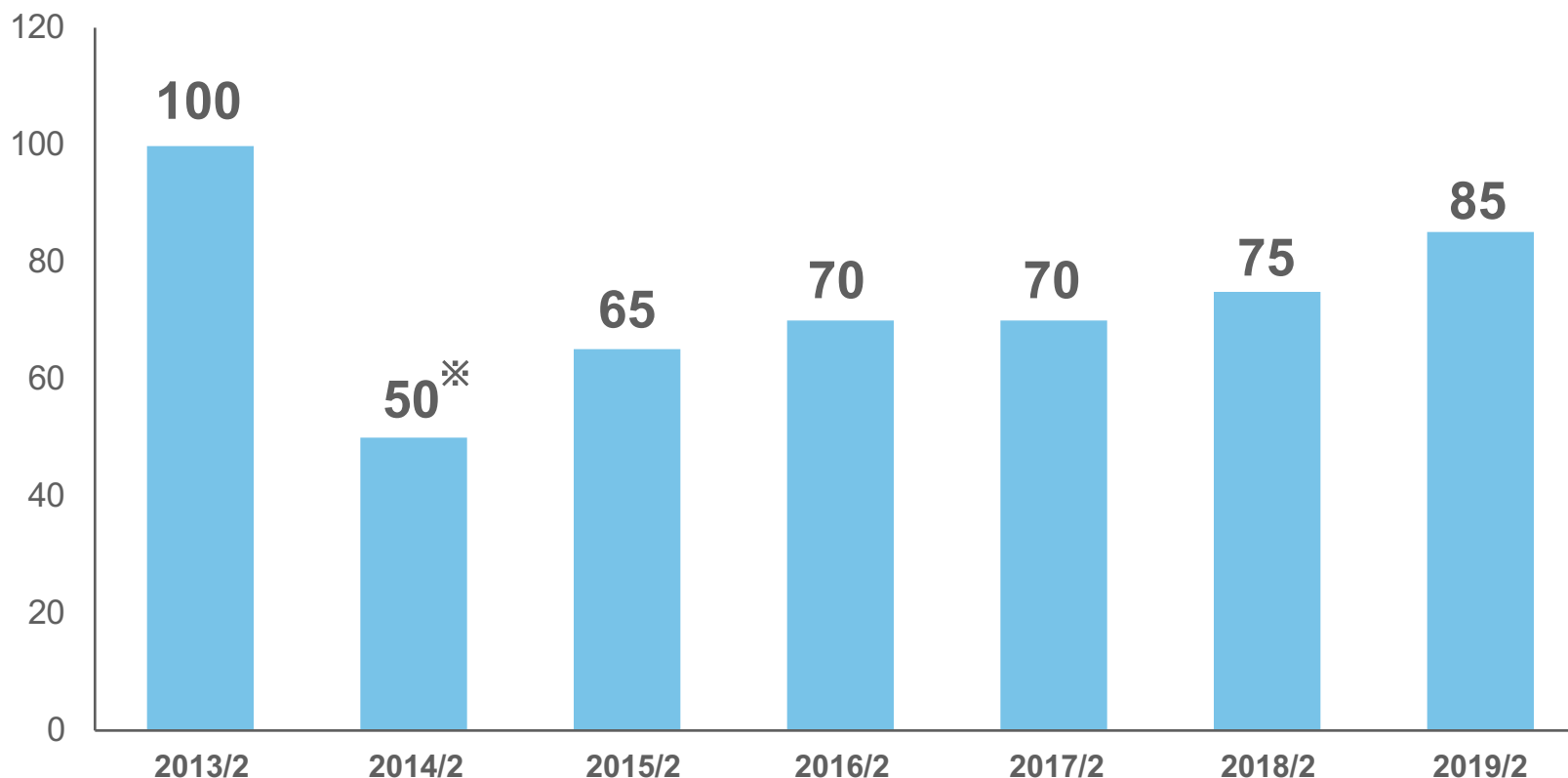
株主様への対応

-
1. 株主還策について
 2. 株主優待制度について
 3. CSRへの取り組みについて



1. 株主還元策について

- 安定配当を継続することを利益還元の基本方針とする
- 当期末の1株当たりの配当は、85円とする(前期比10円増配)



※2013年3月1日を効力発生日として、1株を2株にする分割を実施済み

2. 株主優待制度について

『パルグループ全体の販売を促進する内容』で、導入を決定

当社株式の投資魅力を高めることで、新規の個人投資家様の拡大へ繋げると共に、中長期の保有を促進することを目的といたしまして、株主優待制度を導入いたしました。

優待制度の内容

● 対象となる株主様

毎年2月末日現在の当社株主名簿に記載または記録されている100株（1単位）以上を保有されている株主様を対象といたします。

● 株主優待の内容

保有株式数に応じて、以下の3つの割引優待を選択出来る共通割引優待券を付与することとし、その利用期間は、毎年6月1日から翌年5月31日までとします。

- ①全国の当社グループ店舗でのご購入代金の15%を割引
- ②当社ECサイト「PAL CLOSET ONLINE STORE」でのご購入代金の15%を割引
- ③当社の関係子会社である株式会社フリーゲート白浜が和歌山県西牟婁郡白浜町にて運営する宿泊施設「浜木綿くろしお山荘」及び「フリーゲート白浜」での宿泊コース料金の50%を割引

● 優待券の付与枚数

所有株式数	100株以上	200株以上	500株以上	1,000株以上
付与枚数	2枚	4枚	6枚	10枚



3. CSRへの取り組みについて

(1)当社の経営理念は、『社員と株主みんなの幸せのための経営』

当社にとってのCSR（Corporate Social Responsibility＝企業の社会的責任）とは、継続的に利益を上げ、税金を払い、雇用を継続するという企業の存在意義に関わることを超えて、企業として『少しでも世の為、人の為になっているか』という社会貢献、地域貢献に関わることを考えています。



3. CSRへの取り組みについて

(2) 『障がい者の運営する』 全国初のホテル、旅館を全面支援

当社は、2011年6月より、障がい者雇用を目的としたホテル『フリーゲート白浜』を運営してきましたが、近隣の宿泊施設を買収し、料理旅館『浜木綿くろしお山荘』として、事業を拡大し、営業を開始しました。

両施設とも、従業員の大半が障がいを抱えており、ホテルや旅館業のようなサービス業での雇用は、全国でも珍しいケースとなっていますが、当社での接客ノウハウを伝えながら、障がいのある人が自分たちで考えて、仕事を完結できるようにしています。



浜木綿くろしお山荘

▶ www.hamayu-kuroshio.com

3. CSRへの取り組みについて

(3) 『公益財団法人パル井上財団』での人材育成

当社は、社会貢献活動の一環として、創業一族である井上ファミリーとともに『一般財団法人パル井上財団』を設立した後、現在は公益財団としての認定を内閣府より受けて公益事業を行なっております。

具体的には、将来、ファッション業界や関連する分野に貢献しうる有用な人材を育成したいという趣旨から、学業・人物ともに優秀で、経済的理由により修学が困難な学生に対し、奨学金を給付することを目的としています。

現在、約50名の全国の総合大学及び服飾系の大学・専門学校の学生(留学生を含む)に奨学金を給付しています。

『公益財団法人パル井上財団』
Webサイト

トップページ



パル井上財団

社 是

「常に新しいファッションライフの
提案を通して社会に貢献」

グループ 経営理念

「社員と株主みんなの
幸せのための経営」

社 名	株式会社 パルグループホールディングス
所 在 地	【本社所在地】 大阪府大阪市中央区道修町3-6-1 京阪神御堂筋ビル10F 【東京本社】 東京都渋谷区神宮前6丁目12-22 秋田ビル4F
代 表 者	井上 隆太
資 本 金	31億8,120万円
設 立	1973年10月
事業内容	婦人服・紳士服・雑貨等の企画・製造及び卸・小売
店 舗 数	926店舗

経営企画室

TEL 06-6227-0308

FAX 06-6231-1056

本資料に記載されている、計画、戦略、予想などのうち、歴史的事実でない情報は将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。

また、本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定はご自身のご判断において行われるようお願いいたします。